



安全ニュース



公益社団法人 綾瀬市シルバー人材センター 安全・適正就業委員会 24-03号

全国シルバーでは(12月)こんな事故が……

1. 72歳の男性。剪定作業中脚立より転落し、コンクリート製溜桝の蓋で頭頸部を強打し、入院治療中。(ヘルメット、墜落制止用器具は装着していなかった模様)
2. 75歳の男性。カシの木の上部を剪定するために梯子を上っている途中、何らかの原因で右側頭部を下に落下し死亡。(ヘルメット装着、墜落制止用器具なし)
3. 太陽光発電所の鳥獣侵入防止のため用地とフェンス柵の隙間を埋める作業中、運転するホイールローダーで土砂を採取し、数回運搬した後、法面が急な場所で土砂をバケットに入れ持ち上げようとしたところバランスを崩し横転、下敷きになってしまい死亡。(ヘルメット着用なし)

2月の安全・巡回パトロールの結果から

特に問題となるような内容は、見受けられなかったとの報告がなされています。

安全・適正就業委員会から年度末に向けてのお願い。

全国シルバーからの事故報告では、毎月のように安全保護具の未装着状態での重篤事故が発生し、大切な命を落としている方が後を絶ちません。

やはり事故を防ぐには、『安全はすべてに優先する』『安全無くして就業なし』を肝に銘じ、『自分の安全は、自分で守る』を徹底して実践することが重要だと考えます。

事故は誰にでも起こりうることです。4S(整理・整頓・清掃・清潔)や危険予知などを実行して、細心の注意を払って事故に遭わないよう、年度末に向けて気を引き締めていきましょう。

■ お知らせ ■

普通救命講習会を開催することになっていますが、この種の内容は救命技能を忘れることなく維持向上させる為、2年から3年間隔で定期的に講習を受けることになっています。今までコロナの関係などで、受講できなかった方や見合わせていた方含めて、講習修了証を手にとっておられる方は、受講された日付を確認して上記期間を過ぎている人は、再受講されるようご検討ください。

☆☆☆☆安全はすべてに優先する☆☆☆☆安全無くして就業なし☆☆☆☆